

# 仕組み図解 — 発注サイクルの違い (Stocky・Stockie・UreyukiBox)

Shopify 純正の在庫管理アプリ Stocky の終了（**2026年8月31日**）を前に、「いまの Stocky」「海外の移行候補 Stockie」「UreyukiBox」の3つを、**発注のサイクル（発注 → 入荷 → 在庫 → 次の発注）**がどう回るかという目線で1枚ずつ図解しました。エンジニアでない方にもそのままお見せいただける資料です。競合に関する記載は 2026-08-01 時点の公開情報にもとづき、出典 URL・確認日は「02 比較表」の脚注に記載しています。

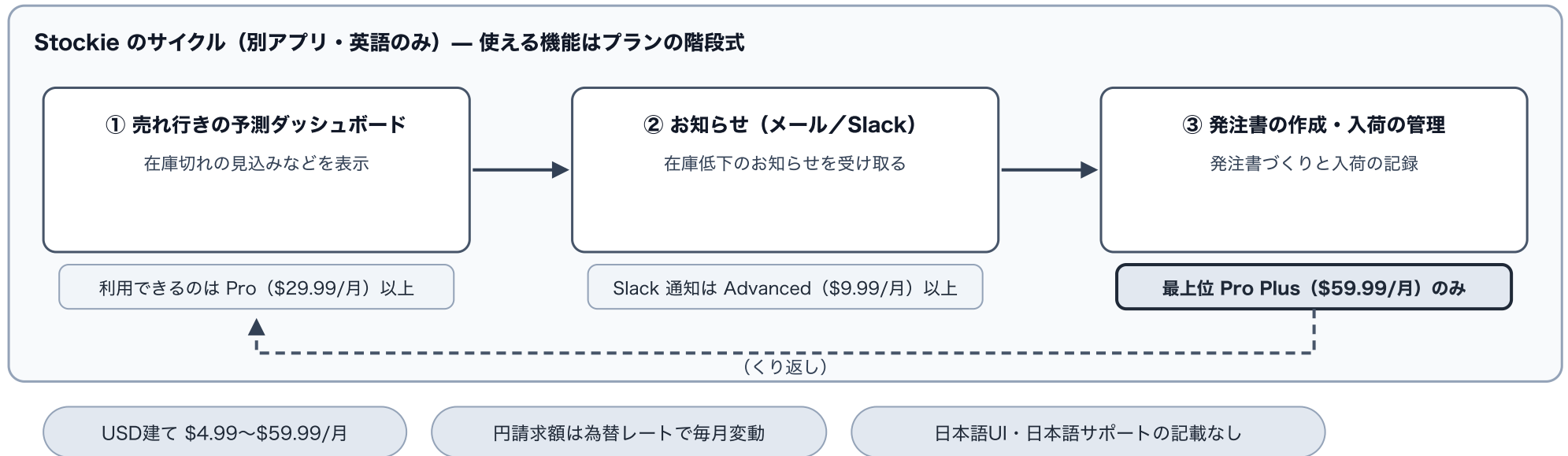
## 1. Stocky (Shopify 純正・2026-08-31 終了) の仕組み



### 特徴の注記

- Stocky は Shopify POS Pro に付帯する純正アプリで、単独の追加費用なしで使えてきました。
- 画面は英語中心です（Shopify ヘルプセンターに日本語ドキュメントはあります）。
- 適格請求書（8%/10% の税区分・登録番号の印字）には対応していません。
- **2026年8月31日にサポート終了**します。以後は乗り換え先のアプリが必要になります。

## 2. Stockie（海外の有力候補）の仕組み



### 特徴の注記

- 価格は USD 建てで、Basic \$4.99 / Advanced \$9.99 / Pro \$29.99 / Pro Plus \$59.99 の4段階（月額）です。日本のストアへの請求は円ですが、USD 建て価格を為替換算するため**請求額は毎月変動**します。
- 予測ダッシュボードは Pro 以上、発注書の作成・入荷の管理は最上位 Pro Plus のみ、Slack 通知は Advanced 以上です。図のサイクルを一通り使う場合は最上位プランが必要です（2026-08-01 時点の公開情報より）。
- 対応言語は English のみ（Shopify App Store の記載、2026-08-01 確認）。日本語での問い合わせ対応は公開情報では確認できませんでした。
- 出典: 「02 比較表」の脚注（出典 URL・確認日。Shopify App Store の公開情報、2026-08-01 確認）。

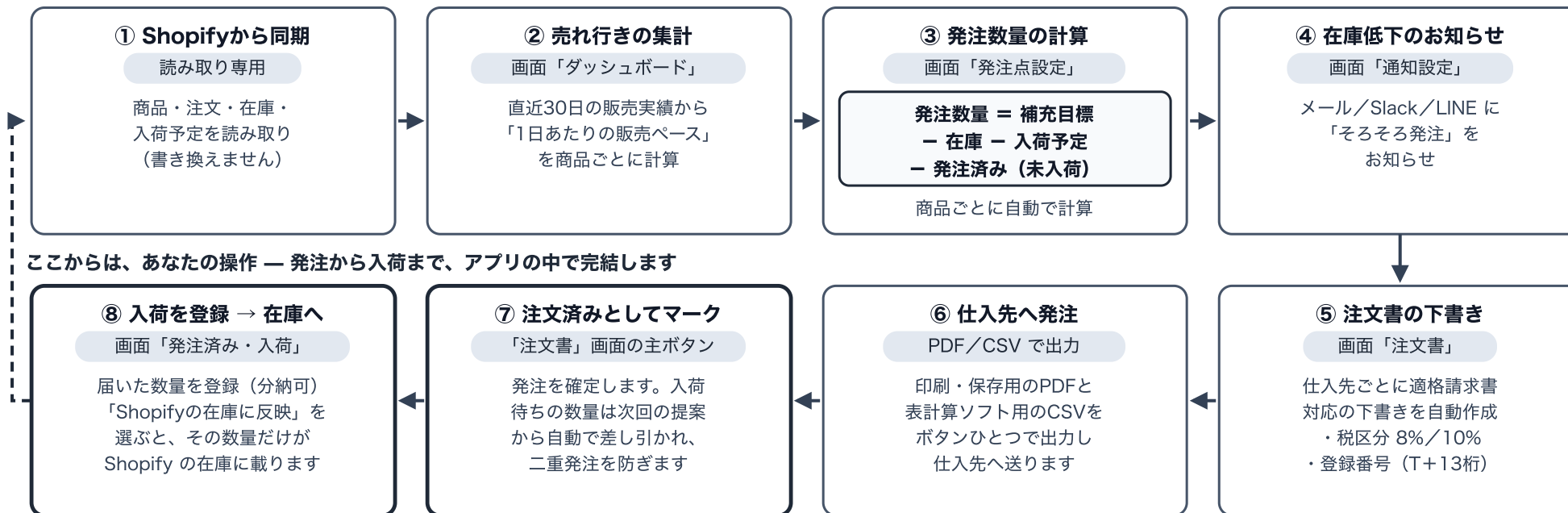
### 3. UreyukiBox の仕組み — 予測から在庫反映まで、アプリの中で一周する

毎朝1回の自動処理で①～④（同期・予測・発注数量・お知らせ）まで回り、そこから先の発注 → 注文済み → 入荷 → 在庫反映（⑤～⑧）もアプリの中で完結します。図中の名前は実際の画面名・ボタン名です。

#### 予測から発注・入荷・在庫反映まで — ひとつのアプリで一周します

在庫が変わるのは、あなたが操作したときだけ

毎朝1回、自動でここまで — ストア側の操作は不要



ここからは、あなたの操作 — 発注から入荷まで、アプリの中で完結します

⑧まで終わったら、翌朝また①へ（自動でくり返し）

#### 発注のひとまわりが、アプリの中で閉じます

- ・①～④は毎朝1回・全自動。あなたの操作は⑤～⑧だけです。
- ・Shopify の在庫が変わるのは、⑧で「在庫に反映」を選んだときだけです。
- ・純正の注文書でも入荷予定を管理したい場合だけ、CSV で橋渡しできます（任意・次ページ）。

#### ポイント: 二重発注になりません

純正の「入荷予定」と、⑦で確定した  
「発注済み（未入荷）」の両方を  
差し引いてから数量を出すためです。

#### 特徴の注記

- 図中の名前は実際の画面名です（実際のナビは ホーム／ダッシュボード／注文書／在庫分析／資金繰りカレンダー／セット商品の在庫／発注点設定／発注元情報／Stocky コピー／通知設定／プラン）。
- 同期は**読み取り専用**です。在庫への書き込みが起きるのは、**あなたがアプリ内で操作したときだけ**——①入荷登録で「Shopifyの在庫に反映」を選んだとき ②在庫調整を登録したとき ③棚卸しを確定したとき ④拠点間の在庫移動を登録したとき——で、同期や自動処理が在庫を書き換えることはありません。アプリを入れたせいで在庫がずれる事故は構造上起きません。
- お知らせは**売れ行き（販売速度）に安全在庫・季節性（お中元・お歳暮・祝日）を加味した需要予測**にもとづきます。根拠（補充目標 – 在庫 – 入荷予定）を画面でそのまま確認できます。
- プランによる違い: Stocky データのコピー（移行）は Free から使えます。発注点の商品ごとの調整（「発注点設定」画面）・予測からの自動下書き・毎朝のメール通知・資金繰りカレンダーは Starter 以上、Slack／LINE 通知と在庫分析（評価額・ABC・デッドストック検知）・セット商品（BOM）は Pro 以上、拠点別の管理は Business です。
- **このひとまわりは、純正との連携なしで完結します。** 予測から注文書づくり、発注の確定、入荷の登録、Shopify の在庫への反映（①～⑧）までがアプリの中で閉じます。Shopify 純正の**注文書画面でも**入荷予定・受領を管理したい場合だけ、次章の CSV 連携（任意）を使います。
- **発注の続き（注文済み → 入荷）もアプリ内で回ります。** 注文書画面の主ボタン「注文済みとしてマーク」で発注を確定すると、入荷待ちの数量が次回の発注提案から自動で差し引かれ（二重発注の防止）、「発注済み・入荷」ページで届いた数量を登録（分納可）すると、その数量だけを Shopify の在庫へ反映できます。
- ⚠️ Shopify は注文書まわりの新機能（API）を公開する見込みで、**現在の CSV 取り込み方式は将来変更・終了となる可能性**があります。**Shopify が新 API を公開し次第、UreyukiBox は最優先で対応します。** その場合も「CSV の書き出し」を「API での受け渡し」に差し替えるだけで、需要予測・注文書づくりはそのまま使えます（次章の橋渡し図参照）。

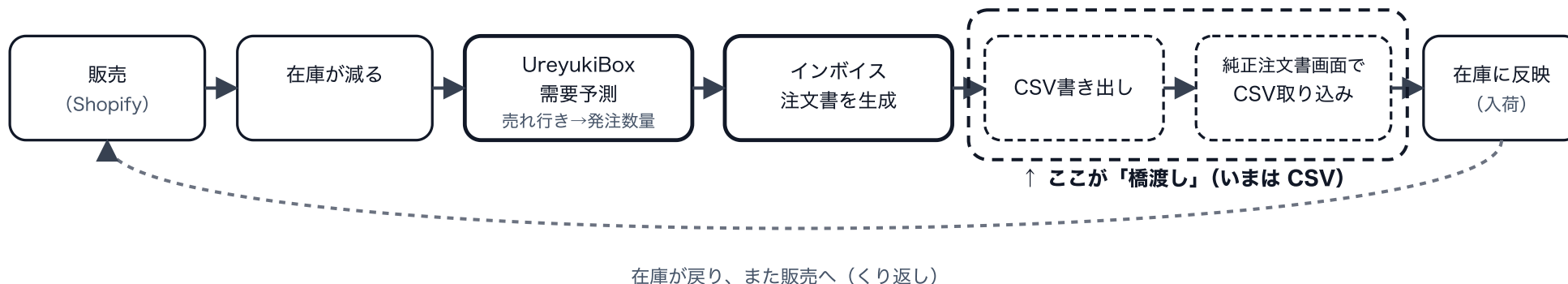
## 4. (任意) 橋渡しのループ — Shopify 純正の注文書との連携 (いま/これから)

---

**この章はすべてのストアに必須ではありません。** 第3章の毎朝のサイクル (予測 → インボイス注文書) は、この橋渡しなしで完結します。橋渡しが役立つのは、**Shopify 純正の在庫台帳にも入荷予定・受領を反映したい**場合です。

Shopify 純正の注文書は、**外部アプリから直接書き込めない**仕様です (Shopify の制約)。UreyukiBox はこの制約を「CSV の橋渡し」で越えます。将来 Shopify が注文書の新 API を公開したら、橋の部分を差し替えるだけで、この受け渡しも自動になります。

## 発注データを Shopify 純正の注文書へ流し込む (いま=CSV の橋渡し)



これから: Shopify が注文書への「書き込み」API を公開したら (2026-07 に読み取りのみ試験提供が先行・書き込みは未提供)

「CSV 書き出し」の箱を「API での受け渡し」に差し替えるだけ。需要予測・インボイス注文書はそのまま活きます。

公開中の現行版は新 API に依存せず、いまの CSV 方式で動いています。API 連携は Shopify が新 API を公開し次第 最優先で対応します (資料06参照)。

## タイムライン — 「橋渡しの手段」がどう変わるか



- この「橋渡し」は第3章の Stocky データ移行 (過去データの引っ越し) とは別物で、**毎回の発注を純正の注文書につなぐ日常の仕組み**です。
- 入荷予定の読み取りは既に対応済みで、発注数量の計算で自動的に差し引かれます (二重発注の防止)。

## 5. ひと目でわかる違い

| 観点                   | Stocky（～2026-08-31）               | Stockie                                | UreyukiBox                                                                                                 |
|----------------------|-----------------------------------|----------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 月額のかかり方              | POS Pro に付帯（追加費用なし）※2026-08-31 終了 | \$4.99～\$59.99/月（USD建て→円換算のため請求額は毎月変動） | ¥0～¥12,800/月（円建て固定・為替による変動なし）                                                                              |
| 日本語の画面・サポート          | －（英語中心。Shopify サポート経由の日本語問い合わせは可） | －（対応言語は English のみ）                    | ◎ 日本語ネイティブUI・日本語サポート（画面・通知・サポートとも英語に対応）                                                                    |
| 適格請求書（インボイス）対応の発注書   | －（対応なし）                           | －（公開情報では確認できず）                         | ◎ 8%/10% 税区分・登録番号印字                                                                                        |
| Stocky からの移行         | －（本体）                             | －（公式の移行案内は確認できず）                       | ◎ 4ステップで自動取込＋移行保証（当方原因で「Stocky データのコピー」が完遂できなかった場合は移行直後の請求月を全額返金。CSV 取り込みは対象外）。Stocky 未使用のストアは移行不要でそのまま利用可 |
| Shopify の在庫データへの書き込み | あり（受領すると在庫に反映される）                 | －（公開情報では確認できず）                         | あり（アプリ内の入荷登録で受領した数量だけを反映）。同期・自動処理は書き込まないため、導入で在庫がずれる事故が構造上起きない。反映先は Shopify 純正の受領操作と同じ在庫台帳＝Stocky と同じ台帳に載る |

凡例: ◎ 強い / －（なし、または公開情報では確認できず）

本資料は 2026-08-01 時点の公開情報にもとづきます。競合各社の記載の出典（URL・確認日）は「02 比較表」の脚注と共通です。競合の仕様・価格は変動するため、実際の選定時は各社公式サイト・Shopify App Store の最新情報をご確認ください。

## 6. Stocky の正統後継として ― いま、そしてこれから

日本のストアにとって、UreyukiBox は **Stocky** でできていたこと（売れ行きにもとづく発注・仕入先ごとの発注書・在庫の見える化）をカバーし、そのうえで日本仕様（日本語・適格請求書）と、より深い予測・在庫分析を上乗せしたアプリです。

- **カバー範囲は同等以上:** 発注リマインダー（安全在庫・季節性を加味）／インボイス対応の注文書／通知（メール・Slack・LINE）／在庫評価額・ABC 分析／Stocky からの自動移行。
- **入荷の在庫反映は Stocky と同じ台帳:** UreyukiBox の入荷登録は、受領した数量だけを **Stocky と同じ Shopify の在庫台帳**へ反映します。Shopify 純正の受領操作を使い続けることもできます（その場合はアプリ側の「Shopifyの在庫に反映」をオフにして二重計上を防ぎます）。
- **発注 → 受領のループは、すでにアプリ内で完結しています:** 注文書の「注文済みとしてマーク」で発注を確定し、「発注済み・入荷」で入荷を登録（分納可）、その数量だけを Shopify の在庫へ反映するところまでが v1 に入っています。**日本のストアにとっての Stocky の後継**として、日常のひとまわりはこれで閉じます。
- **これから:** Shopify は 2026-07 に在庫まわりの新 API（保管場所・棚卸し・注文書の**読み取り**）を試験提供として先行公開しました。注文書への**書き込み**はまだ提供されていないため、純正の注文書台帳へ渡す手段は引き続き CSV です。書き込み API が公開され次第、この受け渡しも自動化します。

上記の将来対応は Shopify の API 提供状況によります（確約ではありません）。